

## ブロッコリーの試験

### 1. 試験目的（重点開発目標）

#### (1) 品種選定試験

##### 【試験目的】

ア. 夏季の生産安定化

イ. 省力化に資する機械収穫を想定した品種選定（加工業需要への対応も想定）

##### 【求める特性】

① 耐暑性、②耐病性、③花蕾品質、④斉一性、⑤在圃性、⑥保管適性

### 2. 試験方法

#### (1) 品種選定試験

ア. 処理区/対照品種・供試品種

・対照品種：「SK9-099」

・参考品種：「アーリーキャノン」「スターラウンド」「トップスター」「あらくさ 53号」

イ. 栽培方法

作期	播種	定植	収穫	施肥 (kg/10a)		
				N	P	K
1 作期	5/8	5/28	7/18~7/22	18.0	14.0	15.0
2 作期	6/6	6/25	8/20~8/22	14.0	14.0	12.0
3 作期	6/27	7/17	9/8~9/16	18.0	14.0	15.0

・栽培様式：条間 60cm、株間 33 cm、栽植密度 5,050 株/10a、平畝

・調査区：10 株、2 反復

・防除：場内慣行に準じる。

・前作：かぼちゃ

ウ. 調査項目

・花蕾径・花蕾重・花蕾障害（不整形花蕾/リーフィー/キャッツアイ/ブラウンビーズ/茎空洞など）、花蕾品質（花蕾色の濃淡/締りの良さ/アントシアンの有無など）、病害・その他障害（芯止まり/ボトニング/異型/花蕾腐敗病/黒すす病ほか病害）、収量性ほか

### 3. 生育概況

#### (1) 品種選定試験

##### 【気象状況】

平均気温は、5月下旬を除き、生育期間を通じて平年より高く推移した。降水量は干ばつ傾向で推移し、7月中下旬から定期的にまとまった降雨があり、9月は平年比1.5倍を記録した。生育期間中の日照時間は平年比1.2倍であった。

##### 【1作期】

全体的に高温干ばつで推移したため、生育が抑制された。収穫時期が7月下旬と本年では最も暑い時期と重なり、障害が多く発生した。

##### 【2作期】

1作期同様高温の影響を受けた。場内慣行通りの防除を行っていたが、コナガをはじめとした病害虫が多発した。収穫期後期から黒すす病の蔓延が確認された。

##### 【3作期】

生育中、定期的な降雨があり、本試験のなかでは順調に生育した作期となった。

### 4. 試験結果概要

#### (1) 品種選定試験（対照品種「SK9-099」との比較）

##### ア. 「アーリーキャノン」

##### <1作期>

- ・調査日は4日早かった。
- ・草姿はやや開帳性で、葉はやや小さく、ワックスはやや少なかった。
- ・花蕾色がやや薄く、締りおよび花蕾凹凸がやや劣った。
- ・規格内率は同程度であった。

##### <2作期>

- ・調査日は2日早かった。
- ・草姿はやや開帳性で、葉はやや大きく、ワックスは同程度であった。
- ・リーフィー、キャッツアイが多く発生したため、調査を中止した。

##### <3作期>

- ・調査日は1日遅かった。
- ・草姿はやや開帳性で、葉はやや小さく、ワックスは同程度であった。

- ・花蕾色がやや薄く、形状および花蕾凹凸がやや劣った。
- ・規格内率は同程度であった。

イ. 「スターラウンド」

< 1 作期 >

- ・調査日は同日であった。
- ・草姿およびワックスは同程度で、葉はやや大きかった。
- ・花蕾色がやや薄く、着粒揃いがやや劣った。
- ・キャッツアイが多く発生し、規格内率が低かった。

< 2 作期 >

- ・調査日は2日早かった。
- ・草姿および葉の大小、ワックスは同程度であった。
- ・キャッツアイ、不整形花蕾、ブラウンビーズが多く発生したため、調査を中止した。

< 3 作期 >

- ・調査日は3日早かった。
- ・草姿およびワックスは同程度で、葉はやや大きかった。
- ・花蕾色がやや薄く、花蕾凹凸がやや劣った。
- ・不整形花蕾、小株、黒すす病がやや多く発生し、規格内率が低かった。

ウ. 「あらくさ53号」

< 3 作期 >

- ・調査日は5日遅かった。
- ・草姿およびワックスは同程度で、葉はやや小さかった。
- ・花蕾色がやや薄く、形状および締りがやや劣った。
- ・リーフィーが多く発生し、規格内率が低かった。

エ. 「トップスター」

< 1 作期 >

- ・調査日は5日早かった。

- ・草姿および葉の大小、ワックスは同程度であった。
- ・花蕾凹凸がやや劣った。
- ・規格内率は同程度であった。

<3 作期>

- ・調査日は3日早かった。
- ・草姿はやや開帳性で、葉はやや小さく、ワックスは同程度であった。
- ・不整形花蕾、ブラウンビーズが多く発生し、規格内率が低かった。

以 上

令和7年度ブロッコリー試験 データ集

表：ブロッコリー 品種選定試験 成績 (1作期)

播種日 5/8

定植日 5/28

対照

優

劣

No.	品種	種苗会社	早晩性	調査日	生育日数 (日)	収穫前調査			花蕾の評価							収穫調査			生理障害および病害の発生割合											
						花蕾高 (cm)	草高 (cm)	草姿 5立-1開	葉の 大小 5大-1小	ワックス 多少 5濃-1薄	花蕾 形状 5良-1劣	花蕾 濃淡 5良-1淡	花蕾 締り 5良-1劣	花蕾 凹凸 5良-1劣	蕾粒 大小 5小-1大	着粒 揃い 5良-1劣	花蕾 総合 5良-1劣	花蕾径 (cm)	花蕾重 (g)	規格内率 (%)	生理障害				病害					
																					不整形 (%)	リーフイー (%)	キャッツ (%)	ブラウン (%)	乱粒 (%)	異型 (%)	小株 (%)	軟腐 (%)	花蕾腐敗 (%)	黒すす (花蕾) (%)
1	SK9-099	サカタのタネ	-	7/22	75	23	55	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	11.5	319	90	0	5	2	0	0	0	2	0	0	0
2	アーリーキャノン	サカタのタネ	-4	7/18	71	25	48	2	2	2	3	2	2	4	3	2	11.2	255	90	0	7	0	0	2	0	3	0	0	0	
3	スターラウンド	ホクレン	0	7/22	75	29	57	3	4	3	3	2	3	2	2	10.7	295	75	0	0	15	0	0	0	5	0	3	0		
4	トップスター	朝日アグリア	-5	7/17	70	31	56	3	3	3	3	3	2	3	3	3	11.8	281	95	5	0	0	3	0	0	0	0	0		

SK9-099



アーリーキャノン



スターラウンド



トップスター



評価方法

- 生育日数： 概ね花蕾径11~13cmに達した日の収穫するようにしたが、生育状況、曜日、天候等により多少前後する。
- 総合評価： 対照品種との比較で総合的に評価。  
対照品種を基準に ◎優れる > ○やや優れる > □対照並み > △やや劣る > ×劣る で評価。 評価不能、欠測は(-)で記載。

収穫前調査、花蕾特性は作型毎に対照品種を3とし、5段階で評価。

花蕾高・草高： 花蕾高は地際から花蕾頂部までの高さ。 草高は地際から葉先端までの長さ。

草姿： 立性具合を評価。

耐病性： 花蕾腐敗病、黒すす病等病害の発生割合を記載。

花蕾評価： 対照品種を基準に、形状は豊円形・揃い等、花蕾色は濃さ、花蕾総合は形状・色に加え、締り・凹凸、蕾粒の大小・揃い、生理障害、病害等を総合的に評価。

総合評価： 各作期ごとの対照品種を標準とした総合的評価。

令和7年度ブロッコリー試験 データ集

表：ブロッコリー 品種選定試験 成績 (2作期)

播種日 6/6

定植日 6/25

対照

優

劣

No.	品種	種苗会社	早晩性	調査日	生育日数 (日)	収穫前調査					花蕾の評価						収穫調査			生理障害および病害の発生割合											
						花蕾高 (cm)	草高 (cm)	草姿 5立-1開 5大-1小 5濃-1薄	葉の 大小	ワックス 多少	花蕾 形状	花蕾 濃淡	花蕾 縮り	花蕾 凹凸	蕾粒 大小	着粒 揃い	花蕾 総合	花蕾径 (cm)	花蕾重 (g)	規格内率 (%)	生理障害						病害				
																					不整形 (%)	リーフィー (%)	キャッツ (%)	ブラウン (%)	乱粒 (%)	異型 (%)	小株 (%)	軟腐 (%)	花蕾腐敗 (%)	黒すす (花蕾) (%)	
1	SK9-099	サカタのタネ	-	8/22	77	29	69	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	11.0	271	28	5	43	3	0	7	0	5	0	10	0
2	アーリーキャノン	サカタのタネ	-	8/20	中止	-	-	2	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	85	15	2	0	0	7	0	0	0
3	スターラウンド	ホクレン	-	8/20	中止	-	-	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	43	80	12	0	0	5	0	15	0

SK9-099



アーリーキャノン【中止】



スターラウンド【中止】



令和7年度ブロッコリー試験 データ集

表：ブロッコリー 品種選定試験 成績 (3作期)

播種日 6/27

定植日 7/17

対照

優

劣

No.	品種	種苗会社	早晚性	調査日	生育日数 (日)	収穫前調査					花蕾の評価							収穫調査			生理障害および病害の発生割合									
						花蕾高 (cm)	草高 (cm)	草姿 5立-1開 5大-1小 5濃-1薄	葉の 大小	ワックス 多少	花蕾 形状	花蕾 濃淡	花蕾 締り	花蕾 凹凸	蕾粒 大小	着粒 揃い	花蕾 総合	花蕾径 (cm)	花蕾重 (g)	規格内率 (%)	生理障害						病害			
																					不整形 (%)	リーフィー (%)	キャッツ (%)	ブラウン (%)	乱粒 (%)	異型 (%)	小株 (%)	軟腐 (%)	花蕾腐敗 (%)	黒すす (花蕾) (%)
1	SK9-099	サカタのタネ	-	9/11	77	27	64	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	10.1	236	77	0	2	0	2	0	0	5	0	8	7
2	アーリーキャノン	サカタのタネ	+1	9/12	78	31	49	2	2	3	2	2	3	2	3	3	2	10.1	186	75	8	2	0	4	0	0	8	0	0	0
3	スターラウンド	ホクレン	-3	9/8	74	32	69	3	4	3	3	2	3	3	3	3	3	10.4	210	65	7	0	2	0	0	0	11	0	0	14
4	あらくさ53号	朝日アグリ	+5	9/16	82	36	52	3	2	3	2	2	3	3	3	2	2	10.8	229	55	3	25	0	5	0	0	12	0	0	3
5	トップスター	朝日アグリ	-3	9/8	74	36	68	2	2	3	3	2	3	3	3	3	3	11.5	265	62	10	7	2	13	0	0	3	0	2	0

SK9-099



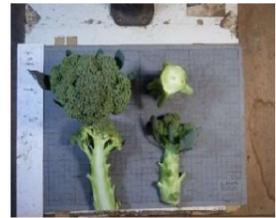
アーリーキャノン



スターラウンド



あらくさ53号



トップスター

